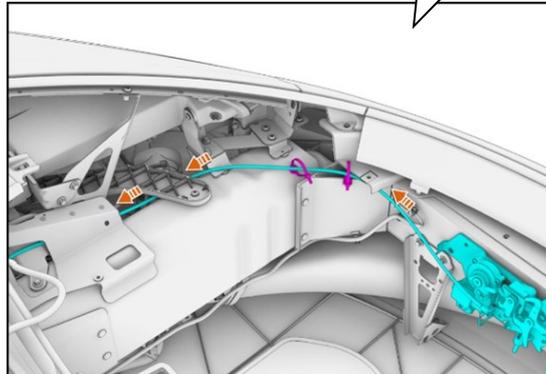


改善箇所説明図

ボンネットのラッチ及びワイヤー



基準不適合発生箇所

ボンネットのラッチ及びワイヤーにおいて、ワイヤーの設計が不適切なため、走行時の振動等によりワイヤーにテンションが掛かることがある。そのため、ラッチが作動し、最悪の場合、走行中にボンネットが開き、運転者に必要な視野が塞がれるおそれがある。

全車両、ボンネットラッチ及びワイヤーを対策品に交換する。

・改善実施済車は、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に、外-3889のステッカーを貼付する。